

ゾレア®の治療を受ける
患者さんご家族の方へ

はじめての
ゾレア®
特発性の慢性蕁麻疹

監修

桜仁会いがらし皮膚科東五反田 院長

五十嵐 敦之 先生

*ゾレアの効能又は効果は特発性の慢性蕁麻疹(既存治療で効果不十分な患者に限る)

ゾレアは特発性の慢性蕁麻疹の治療に用いられる
「抗IgE抗体」というおくすりです。



どうして蕁麻疹がおきるの？

蕁麻疹は、血液中のIgEと呼ばれる物質などが、皮膚にあるマスト細胞を活性化することで、マスト細胞からヒスタミンやロイコトリエンなどの炎症をおこす化学物質(炎症性メディエーター)が放出されておこります。

血中のIgE など

マスト細胞の活性化

蕁麻疹

何らかの刺激により、血中のIgEなどがマスト細胞の受容体に結合

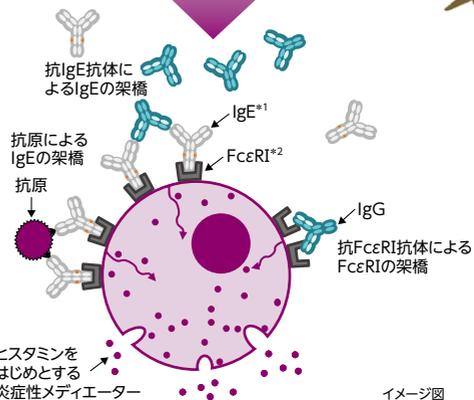
アレルギーをおこす原因物質(抗原)

寒さ、日光などの刺激

原因不明

マスト細胞から、皮膚に炎症をおこす炎症性メディエーター(ヒスタミンなど)が放出される

- * 1 : 免疫グロブリンEと呼ばれる抗体のことで、通常、人間の血液中や体液中に微量に存在しています。免疫システムに何らかの異常があると体内で過剰に産生され、蕁麻疹やアレルギーなどの症状を引きおこす一因となります。
- * 2 : マスト細胞に存在する受容体で、IgEとマスト細胞を結びつける役目を果たします。IgEとマスト細胞が結びつくことで、ヒスタミンなどの炎症性メディエーターが放出され、蕁麻疹やアレルギーがおこります。



ヒスタミンをはじめとする炎症性メディエーター放出

皮膚の血管と神経に作用し、血管拡張、血漿成分漏出により、膨疹ができる



血管拡張、血漿成分漏出
膨疹ができる

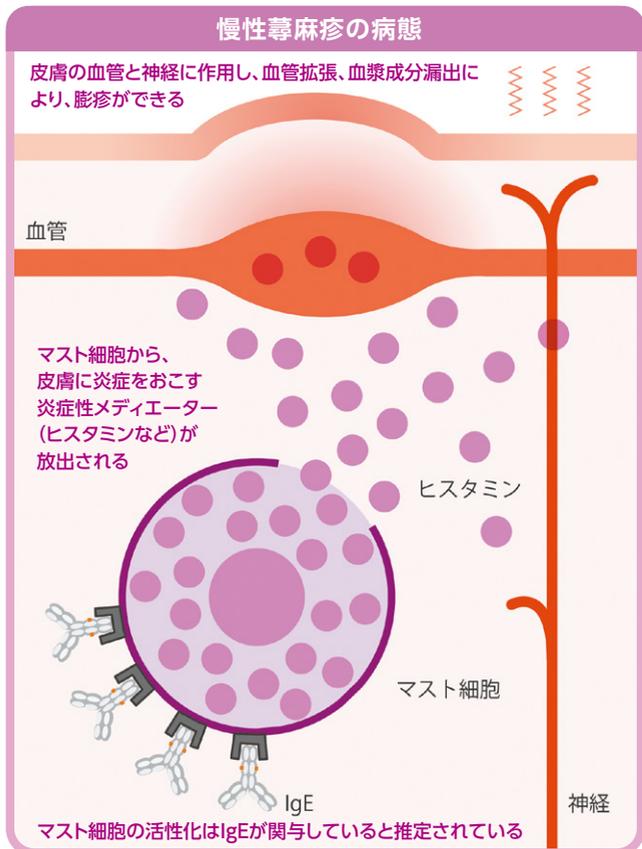


膨疹とは、皮膚にできる赤いふくらみのことで、通常は数時間以内に自然消失します。

特発性の慢性蕁麻疹のおくすりゾレア*

ゾレア*は特発性の慢性蕁麻疹に対する治療薬です。
特発性の慢性蕁麻疹をおこす元の一つと考えられている

*ゾレアの効能又は効果は特発性の慢性蕁麻疹(既存治療で効果不十分な患者に限る)
特発性とは、原因が見当たらないことです。



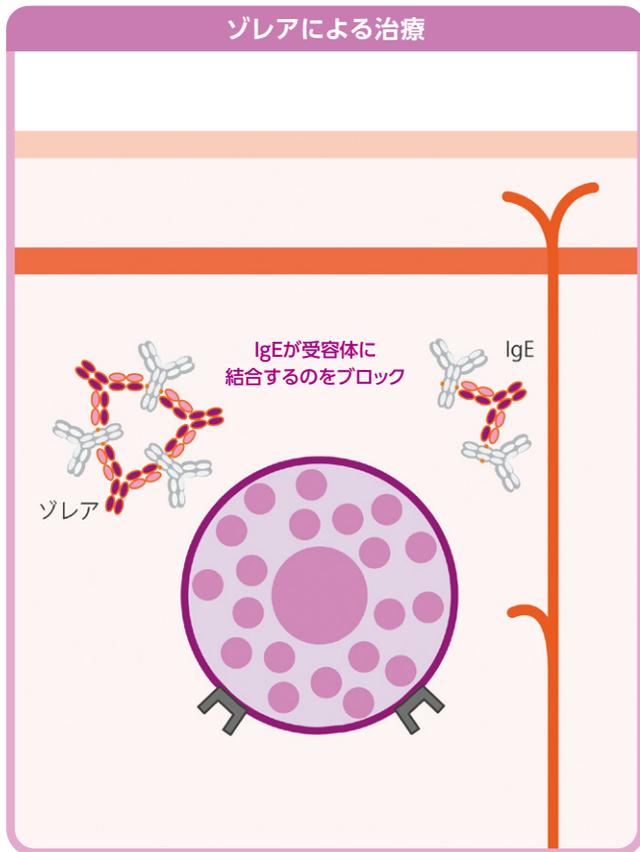
イメージ図(1)より作図)

その他の蕁麻疹治療薬¹⁾

抗ヒスタミン薬

ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液(注射)、
グリチルリチン酸製剤(注射)、トラネキサム酸など
アレルギー症状や炎症をおさえます

IgEをおさえる作用があるおくすりです。



イメージ図(2)より作図)

抗炎症薬 (ステロイド薬*など)

炎症をおさえます

*慢性蕁麻疹に対する健康保険適用は未承認

1) 秀道広ほか: 蕁麻疹診療ガイドライン2018. 日皮会誌. 128(12), 2503, 2018

2) Boushey, H. A. Jr.: J. Allergy Clin. Immunol. 108(2 Suppl), S77, 2001

ゾレアが目指す治療ゴール

今までの治療薬を使っても残っている症状をコントロールして、活動的な日常生活を送ることを目指します。

人目を気にせず
活動したい



仕事や学業に
集中したい



夜、ぐっすり
眠りたい



日常生活を楽しみたい



ゾレアの投与を受けるには…

ゾレアの治療を受けることができるのは、
以下に該当する特発性の慢性蕁麻疹の患者さんです。

- 今までの治療で効果不十分の場合
- 12歳以上である
- 原因不明である
- ゾレアに対して過敏症の既往がない

なお、妊娠中および授乳中の方は、
必ず主治医にご相談ください。

ゾレアは1ヵ月ごとに病院で注射します。

ゾレアは通常、1回 300mg を4週間ごとに医療機関を受診して、皮下に注射していただく治療薬です。

月1回の通院が必要

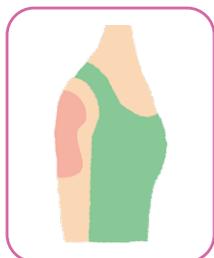


ゾレアは主治医の判断の下、患者さんご自身またはご家族が注射を行う「自己注射」の選択も可能です。

詳細は主治医にご相談ください。

ゾレアの主な副作用と注意すべき症状

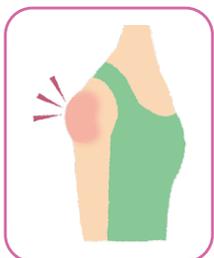
主な副作用は、
注射部位の赤みや腫れです。



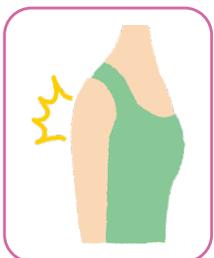
赤くなる



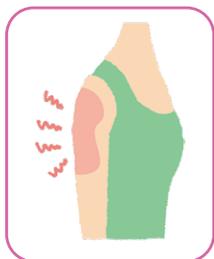
かゆくなる



腫れる



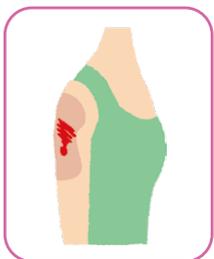
痛い



熱くなる



硬くなる



出血する

ゾレアの投与で予想される主な副作用は、注射部位の反応です。国内の臨床試験でもっとも多くみられた副作用は、注射した場所が赤くなったり、腫れたりする症状でした。

臨床試験とは、新しいおくすりを作るときに患者さんに参加してもらっておくすりの効果や副作用を調べる試験のことです。

ゾレアの投与後は、 以下の症状に注意してください。

- 気管支のけいれん
- 呼吸困難
- 血圧低下
- 失神
- 全身の発疹
- 全身のかゆみ
- くちびる、舌、のどの奥の腫れ



このような症状が発現した場合、「アナフィラキシー」の可能性があり、全身にわたって生じるアレルギー反応により症状が急激に発症し、重篤な場合は生命をおびやかす危険がまれにあります。ゾレア投与後の注意に関しては、主治医や看護師の指導にしたがってください。

思いあたる症状があらわれた場合は、
速やかに主治医や医療機関にご連絡ください。

日常生活の注意点

一般的に蕁麻疹がでたり、悪化させたりすると考えられている要因について理解し、避けられるものは避けて、蕁麻疹が悪化しないように注意しましょう。

- 運動による悪化に注意する
- 蕁麻疹の症状が強いときの入浴は避ける
(皮疹が落ち着いているときにシャワーのみの短時間入浴)
- 鮮度の落ちた魚や香辛料の多い食品を避ける
- 過度の飲酒は避ける
- 暴飲暴食を避ける
- 非ステロイド性抗炎症薬の内服を避ける*
- 疲れを感じたら休む
- ストレスを溜めないようにする



* 非ステロイド性抗炎症薬の内服により蕁麻疹が悪化することがあります。
(秀道広ほか: 蕁麻疹診療ガイドライン2018. 日皮会誌. 128(12). 2503, 2018)

蕁麻疹の状態を把握しましょう

特発性の慢性蕁麻疹は多くはいつおこるか分かりません。しかし、蕁麻疹の状態を記録することで、どのようなときにでるのか、悪化するのかなど、日常生活の注意点が分かることがあります。「特発性の慢性蕁麻疹ノート」に蕁麻疹の状態を記録し、自分の蕁麻疹の傾向を把握し、上手にコントロールしましょう。



症状

シリアによる
治療

治療のゴール

投与を
受けるには

副作用・
要注意な症状

日常生活の
注意

治療開始前に

症状記録
シート

治療開始前に

まず最初に、あなたのこの4週間の蕁麻疹の状態を主治医と一緒にチェックしてみましょう。

16 ページのシートを記入して、合計点数をだしましょう。合計点数で、あなたのこの 4 週間の蕁麻疹の状態が分かります。

***参考合計点数について**

12 点未満：蕁麻疹の症状が治療によりコントロールできていない状態

12 点以上：蕁麻疹の症状が治療によりコントロールできている状態

16 点：蕁麻疹の症状が治療により完全にコントロールできている状態

Weller K, et al. J Allergy Clin Immunol 2014; 133: 1365-1372.

本研究にノバルティスは資金提供を行いました。

著者にノバルティスよりコンサルタント料 / 研究費を受領している者が 1 名含まれます。
Urticaria Control Test-Scoring Template. Version 2014. MOXIE. Germany, 2014.

**特発性の慢性蕁麻疹の治療は長期間に
及ぶことがあります。**

**1 ヶ月ごとに点数を比較して、主治医と相談しながら
あなたの症状に合った治療をしていきましょう。**

症状を把握したら、18 ページであなたの治療ゴールを設定しましょう。

症
状

ソ
レ
ア
に
よ
る
治
療

治
療
の
ゴ
ー
ル

投
与
を
受
け
る
に
は

副
作
用
・
要
注
意
な
症
状

日
常
生
活
の
注
意

治
療
開
始
前
に

症
状
記
録
シ
ー
ト

この4週間の蕁麻疹の状態は？

記入日： 月 日

- 蕁麻疹の患者さんにお尋ねします。以下の質問は、あなたの現在の症状をお聞きするものです。各質問をよく読んで、5つの選択肢の中からあなたの状態に**最もあてはまるもの**を選んでください。**直近の4週間**についてお答えください。**あまり長い時間考え込まないようにして、すべての質問に1つだけ回答を選んでお答えください。**

Q1

この4週間に、**蕁麻疹による症状(痒み、膨疹^{*}、腫れ)**がどのくらいありましたか？ ※膨疹:蚊に刺された時やミミズ腫れのような皮膚の膨らみ

- 非常に強い(0点) 強い(1点) ある程度(2点)
 わずか(3点) 全くない(4点)

Q1

点

Q2

この4週間に、蕁麻疹によってあなたの**生活の質**はどのくらい損なわれましたか？

- 非常に強い(0点) 強い(1点) ある程度(2点)
 わずか(3点) 全くない(4点)

Q2

点

Q3

この4週間に、蕁麻疹の**治療**があなたの症状を抑えるのに**十分でなかった**ことがどのくらいありましたか？

- 非常に頻繁(0点) 頻繁(1点) 時々(2点)
 まれに(3点) 全くない(4点)

Q3

点

Q4

全体として、この4週間にあなたの蕁麻疹はどのくらい**良い状態**に保たれていましたか？

- 全く(保たれていなかった)(0点)
 わずかに(しか保たれていなかった)(1点)
 ある程度(保たれていた)(2点)
 良く(保たれていた)(3点)
 完全に(保たれていた)(4点)

Q4

点

- Q1～Q4の点数を合計して記入しましょう

合計

点

記入例

自分の状態に最もあてはまるものに
チェックを入れましょう。

記入日： 1月 31日

- 蕁麻疹の患者さんにお尋ねします。以下の質問は、あなたの現在の症状をお聞きするものです。各質問をよく読んで、5つの選択肢の中からあなたの状態に**最もあてはまるもの**を選んでください。**直近の4週間**についてお答えください。**あまり長い時間考え込まないようにして、すべての質問に1つだけ**回答を選んでお答えください。

Q1 この4週間に、**蕁麻疹による症状(痒み、膨疹*、腫れ)**がどのくらいありましたか？ ※膨疹:蚊に刺された時やミミズ腫れのような皮膚の膨らみ

非常に強い(0点) 強い(1点) ある程度(2点) **Q1** 2点
 わずか(3点) 全くない(4点)

Q2 この4週間に、蕁麻疹によってあなたの**生活の質**はどのくらい損なわれましたか？

非常に強い(0点) 強い(1点) ある程度(2点) **Q2** 2点
 わずか(3点) 全くない(4点)

Q3 この4週間に、蕁麻疹の**治療**があなたの症状を抑えるのに**十分でなかった**ことがどのくらいありましたか？

非常に頻繁(0点) 頻繁(1点) 時々(2点) **Q3** 2点
 まれに(3点) 全くない(4点)

Q4 **全体として**、この4週間にあなたの蕁麻疹はどのくらい**良い状態に保たれて**いましたか？

全く(保たれていなかった)(0点)
 わずかに(しか保たれていなかった)(1点)
 ある程度(保たれていた)(2点) **Q4** 2点
 良く(保たれていた)(3点)
 完全に(保たれていた)(4点)

- Q1～Q4の点数を合計して記入しましょう

合計 8点

チェックした箇所の点数を合計して
記入しましょう。

あなたの治療ゴールは？

治療ゴールとは、蕁麻疹の治療で何を解決したいかや、治療後にどうなりたいかという、治療をしていく上での目標のことです。

かゆみだけがおさまればいいのか、生活の質をよりよくしたいのか、目指す治療ゴールは人によって様々です。

今の困っている状況を治療により可能な限り解決するため、あなたの治療ゴールを下記のアイコンから選択してチェックを入れましょう。

人目を気にしないで過ごせる



仕事や学業に集中できる



ぐっすり眠れる



日常生活を楽しめる



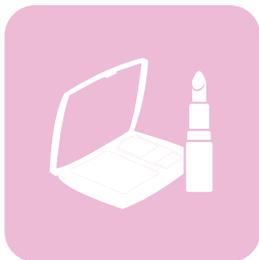
おしゃれできる



恋愛・結婚できる



お化粧を楽しめる



趣味を楽しめる



不安感から解放される



チェックした項目で、どんなことを改善したいか具体的に記入してみましょう。

病医院名